

ID ^{注1)}	221202	公開レベル ^{注1)}		保管形式 ^{注1)}		保管場所 ^{注1)}		前回ID	161205
-------------------	--------	----------------------	--	---------------------	--	---------------------	--	------	--------

報告書名称 / 調査名称	令和3年度 保護林モニタリング調査及び評価（米代川及び庄内森林計画区）		発行年月/報告年月					
			2022年	3月				
			資料形式 ^{注2)}	報告書				
調査機関	東北森林管理局		委託機関	(一財) 自然環境研究センター				
調査開始年	2011年		調査期間	2021年	5月	～	2022年	3月
調査頻度 ^{注2)}	— — —		調査時期 ^{注2)}	通年 — —				
モニタリング計画	2017年3月	改訂	区分 ^{注2)}	IIA	大区分 ^{注2)}	1	小区分 ^{注2)}	(1)
調査箇所・範囲 ^{注3)}				調査手法				
☒ 核心地域 ☒ 緩衝地域 ☒ 周辺地域 ☒ GPS等の位置データあり				■保護林名 白神山地森林生態系保護地域 ■面積 4,344.15ha（米代西部森林管理署管内（本保護林の秋田県側）） ■設定目的 日本海型の典型的なブナ林を主体とする原生的な天然林を保存することにより、白神山地における森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的とする。 ■調査項目 保護林の保護・管理に資するため、「保護林モニタリング調査マニュアル」（平成29年3月・林野庁）に基づく調査を実施。 1. 森林タイプの分布等状況（資料調査） 2. 樹木の生育状況（資料調査／森林概況調査／森林詳細調査） 3. 下層植生の生育状況（資料調査／森林概況調査／森林詳細調査） 4. 野生動物の生息状況（資料調査／動物調査） 5. 病虫害等発生状況（資料調査／森林概況調査／森林詳細調査） 6. 論文等発表状況（資料調査） 7. 巡視実施状況等（聞き取り調査） ■過去の実施時期 平成23年度、平成28年度 （平成23年度より5年毎に調査を実施、次回は令和8年度を予定）				
 ※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。								
結果概要（スペースに収まるように入力してください）								
■前回モニタリングとの結果比較 1. 森林タイプの分布等状況 森林タイプの分布状況に特段の変化は見られなかった。 2. 樹木の生育状況 ブナが優占し幅広い直径階で生育しており、林相に目立った変化は確認されなかった。 3. 下層植生の生育状況 概ね前回調査同様の植物が生育しており、外来種は確認されなかった。 4. 野生動物の生息状況 カモシカやツキノワグマ等の哺乳類、クマタカやヤマセミ等の鳥類が確認された。 5. 病虫害等発生状況 本調査では病虫害等は確認されなかったが、保護林周辺でニホンジカの侵入とナラ枯れの発生が確認されている。 6. 論文等発表状況 学術研究等への利用が確認された。 7. 巡視実施状況等 状況に応じた必要な管理体制が取られていた。 林相等に大きな変化はなく、保護林は安定して維持されていることが判明した。また、前回調査から大きな変化は認められなかった。なお、保護林周辺地域でニホンジカの侵入及びナラ枯れの発生が確認されているため、周辺地域も含めた情報収集及び情報把握が望まれる。								
問い合わせ	林野庁 東北森林管理局 計画保全部計画課 〒010-8550 秋田県秋田市中通五丁目9番16号 TEL：018-836-2489 FAX：018-836-2203 《原本（データ）の帰属について》							

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。

注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。

注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

1. 森林タイプの分布等状況

4344.15haのうち56.5%を占める保存地区においては、天然生林が99.2%を占めており、中央部と南部には林地外が点在する。保全利用地区についても、ニツ森付近や小岳付近などに林地外が見られ（1.8%）、東部に人工林が点在するが（1.4%）、それ以外は天然生林となっている。保護林周辺部の国有林は多くが天然生林であるが、一部人工林も見られる。

保護林の北東側は「白神八甲田緑の回廊」と接続し、全域が水源涵養保安林に指定されているほか、保全利用地区の北東部分は「小岳自然観察教育林」に、北西部分は「ニツ森自然観察教育林」に指定されている。また、本保護林は「秋田白神県立自然公園」、「白神山地自然環境保全地域」「国指定白神山地鳥獣保護区」に指定される地域が含まれている。

2. 樹木の生育状況

保護林内に設定している2箇所の固定調査区（プロット1・4、それぞれ円形で0.1ha）で植生調査を実施したところ、前回の調査時から樹木の生育状況に目立った変化は見られなかった。

プロット1ではブナが優占し、胸高直径5～50cm未満の幅広い直径階で生育していた。その他、大径木のダケカンバ、中径木のナナカマドの生育も確認された。

プロット4もブナが優占しており、胸高直径5～65cm未満まで幅広い直径階での生育が確認された。大径木ではミズナラとキタゴウウの生育も確認された。小径木ではリョウブが多数生育しており、マルバマンサク、オオバクロモジ、タムシバも見られた。

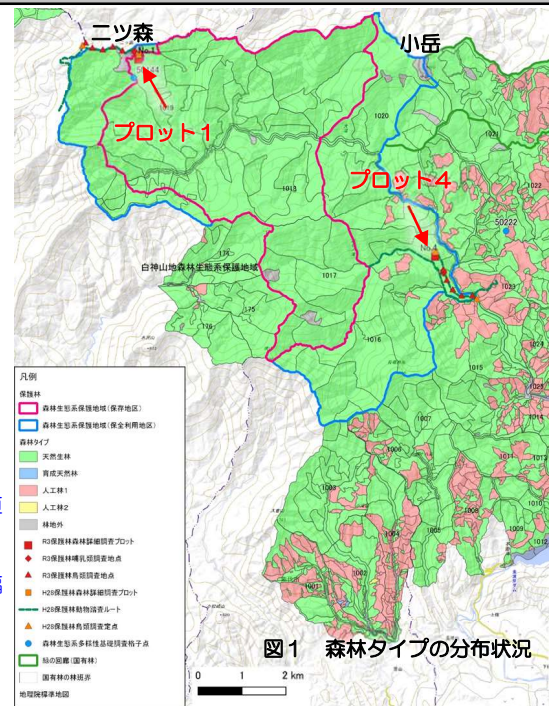


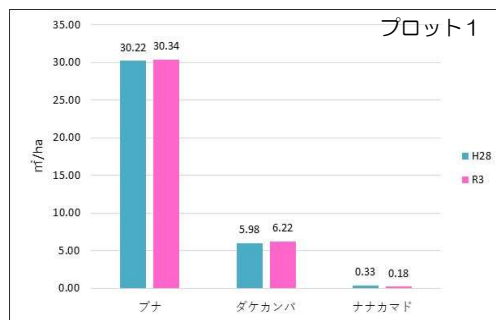
図1 森林タイプの分布状況



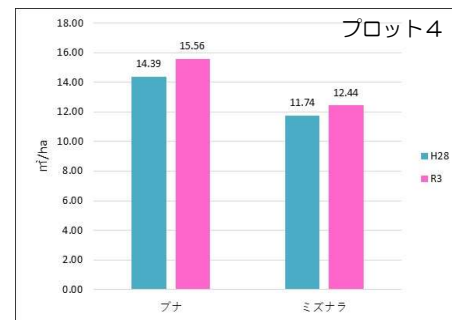
プロット1（標高1036m）



プロット4（標高415m）



プロット1



プロット4

図2 毎木調査 1ha当たりの樹種別胸高断面積合計（優占度上位樹種）

3. 下層植生の生育状況

プロット1で20種、プロット4で23種の草本類及び木本類が確認され、前回調査時から生育状況に目立った変化は見られなかった。

4. 野生動物の生息状況

自動撮影カメラによる哺乳類調査とスポットセンサス法による鳥類調査を実施した。哺乳類では、カモシカやツキノワグマ、ニホンザル等の中・大型哺乳類の生息が確認された。鳥類では、クマタカやオオタカ等の猛禽類、コルリやエゾムシクイ等の森林性の種、ヤマセミヤカワガラス等の水辺環境に生息する種が確認された。

5. 病虫害等発生状況

本調査では病虫害等の被害は確認されなかったが、秋田県八峰町及び藤里町ではナラ枯れが確認されている。また、白神山地周辺地域に設置している自動撮影カメラでニホンシカが確認されている。

6. 論文等発表状況

前回調査以降、本保護林を対象に含む論文等が確認された。

・鳥丸猛・寺倉千晴・赤田辰治（2020）「白神山地ブナ天然林におけるリターフォール量の季節変化」日本生態学会第67回全国大会講演要旨 等

7. 巡視実施状況等

米代西部森林管理署、藤里森林生態系保全センター、秋田県による定期巡視、ニホンシカの実態把握調査（自動撮影カメラ設置・痕跡調査等）、入林者への普及啓発等が実施されている。